

⑥8 けんせつ小町チーム“愛”意見集レビュー発行 ～すべての人が長く働ける建設業を目指して～

受賞機関 国土交通省 中部地方整備局 愛知国道事務所

キーワード けんせつ小町、担い手確保、職場環境改善、ワークライフバランス、官民協働

全建賞審査委員会の評価ポイント

建設会社・設計会社・行政で働く女性技術者を中心に結成されたチームが、職場環境の改善や学生への就職支援活動等に継続的に取り組み、結成当初の16名から82名まで参加者を拡大するとともに、性別や年齢に関係なく誰もが長く働ける建設業の実現に向けた意識醸成と情報発信を行った点が評価された。

1. はじめに

中部地方整備局愛知国道事務所では、建設業の担い手確保の一環として、女性技術者の活躍推進に取り組んでおり、愛知国道事務所の事業に係る建設会社・設計会社・行政で働く女性技術者を中心に平成28年度に「チーム“愛”」を結成した。

以来、建設業の職場環境の改善や体制・制度の拡充を目的とした勉強会の開催、さらには学生への就職支援活動を展開してきた。

2. 事業の概要

チーム“愛”は、女性技術者の活躍推進を目的として、これまで女性技術者が活躍する現場環境の視察や意見交換会を実施してきた。また、平成30年度には建設技術フェアに初出展し、以降も継続して出展している。ここでは、現役の女性技術者が未来の技術者を目指す学生に対し、疑問や不安に答えるなど、入職支援活動を行っている。

令和元年度には「全ての人が長く働ける建設業を目指して」をテーマに、今後の課題解決につながる提案をまとめた「意見集」を作成した。さらに、意見集の作成から5年経過後の労働環境改善状況について、チーム“愛”メンバーの職場における事例に基づき「意見集レビュー」を発行している。



意見交換会

3. 事業の成果

意見集レビューでは、意見集で提案された17件の意見について、それぞれの変化を確認した。主な事例を以下に紹介する。

①安全・快適に働くことができる作業着等を配備してほしい

作業着・ヘルメット・安全靴等において、女性用サイズがなく、男性用のSサイズが支給される現状が課題として挙げられていた。

改善事例として、「作業着改善委員会を設置し、新しい作業着に変更する予定」や「以前はなかった女性用サイズが導入された」等が挙げられた。また、女性用フルハーネスの導入等により、女性職員の負担軽減が図られた。

②体調に対する認識を持ち、配慮してほしい

女性の体調変化や不調を理解している人が少なく、相談しにくいとの意見が挙げられていた。

改善事例として、「若手職員の生理休暇取得実績の増加」や「男性の上司にも生理休暇の取得を申し出ることができるようになった」等、組織全体で女性の体調変化への理解が進んだことが挙げられる。



ICT建設機械を用いた施工の現場見学

4. おわりに

チーム“愛”は、平成28年度の結成から10年間にわたり、女性技術者の職場環境の改善に向けた活動を継続してきた。その結果として、意見集レビューで挙げられた様々な改善につながったと考えられる。ただし、この成果はチーム“愛”だけの功績ではなく、建設業に関わる全ての人の意識改革によるものでもある。

今後も、女性技術者を含む「全ての人」が長く働ける建設業を目指し、活動を継続していく。

賛助会員 国際航業(株)、若築建設(株)、中部土木(株)、(株)エイト日本技術開発、(株)加藤建設、中央コンサルタンツ(株)、(株)日本ピーエス、JFEエンジニアリング(株)、オリエンタル白石(株)、パシフィックコンサルタンツ(株)